

教 養

我が国の観光需要は、2019 年まで飛躍的に増加を続けた後、新型コロナウイルス感染症拡大により大きく落ち込んだが、2023 年以降は急速に回復を続けており、2024 年における訪日外国人旅行者数は 3,687 万人と過去最高を記録し、日本人の国内延べ旅行者数についても 2019 年の約 9 割程度である 5.4 億人に達した。

多くの観光地が賑わいを取り戻す一方で、観光のネガティブな側面として、過度な混雑や観光客によるマナー違反が発生する等のオーバーツーリズムが問題となっている。

観光は、交流人口の増加による経済成長や地域経済の活性化、国際的な相互理解の増進に寄与するものであり、その役割への期待は大きく、持続可能な観光地域づくりを実現するためにも、オーバーツーリズムの未然防止・抑制に向けた取組を推進していく必要がある。

そこで、次の問いに答えなさい。

問1 オーバーツーリズムが地域住民や自然環境、旅行者等に対してどのような影響を及ぼすか、あなたの考えを述べなさい。

問2 オーバーツーリズムを未然防止・抑制するためには、どのような取組を進めていくべきか、あなたの考えを述べなさい。

專 門

【問 1】 次の（１）、（２）に答えなさい。

- （１） 感覚記憶から短期記憶を経て長期記憶が形成されるまでの流れについて、説明しなさい。
- （２） 心理学的研究法におけるカウンターバランスについて、具体的な例を挙げて説明しなさい。

【問 2】 次の文章中の（ア）から（コ）に当てはまる語句を答えなさい。

- ・ （ア）は、「感覚の強さは、刺激の強さの対数に比例して増加する」という法則を立てた。
- ・ 標準偏差は、データの（イ）を示す指標である。
- ・ 臨床的所見や生理学的研究から、大脳皮質には部位によって異なる働きがあるとされる。これを（ウ）という。
- ・ ヒトの発汗には、（エ）・（オ）・味覚性発汗の３種類がある。ポリグラフ検査で計測対象としているのは（オ）である。
- ・ 条件反射形成後、条件刺激に対する反応と同じ反応が、類似する刺激に対しても生じる現象を（カ）という。
- ・ 視床下部の賦活が、情動に伴う内臓反応や骨格筋反応といった身体的変化と、大脳皮質における情動の体験を生じさせるという“情動の中枢発生説”を（キ）という。
- ・ ケーラーは、天井に吊るしたバナナをチンパンジーに取らせるという実験で、ある時チンパンジーが突然ひらめいて問題を解決する様子を見て、その問題解決能力を（ク）という認知的な用語で説明した。
- ・ 刑務所や留置場といった刑事施設や、精神科の閉鎖病棟等のように、自由が制限される特殊な状況下において観察される様々な精神症状を、総称して（ケ）という。
- ・ 人間のストレス反応を評価する際、内分泌系の指標として、副腎皮質から分泌される（コ）を測定することがある。

【問 3】 以下の文章を読み、（１）から（３）に答えなさい。

△△県警察本部□□課犯罪撲滅計画室の〇〇さんは、上司から「これから△△県下の３手口の窃盗犯（自転車盗・置引き・万引き）の発生を抑制・減少させる方策を立てたいと思う。方策を立てるに当たって、これら３手口の発生に及ぼす要因を考えて欲しい」との指示を受けた。

そこで〇〇さんは、まず△△県の３手口の窃盗犯に関する過去１０年分のデータを集め、併せて、〇〇さんが「発生に関連していそうだな」と考えた事象に関するデータも探した（次頁の表１及び表２参照）。データ収集後、〇〇さんは一人で色々と試行錯誤してみたものの、どのようにまとめれば良いのか困ったため、上司に相談した。上司から、「順を追って段階的に検討してみるといいよ」と言われ、次の（１）から（３）の指示を受けた。

- （１） ３手口の窃盗犯の増減について、フリーハンドでグラフを作成し、その傾向を類似点と相違点とに分けて述べなさい。
- （２） ３手口の窃盗犯の増減に影響を及ぼしていると推定される要因は何か。次頁の表１及び表２から推定できることを少なくとも３つ挙げた上で、推定した理由を説明しなさい。
- （３） 上記（２）で挙げた要因の中から１つ選び、要因として推定した理由が妥当か否かを客観的に確かめる具体的な方法を、心理学的研究方法を用いて述べなさい。なお、説明には図表を用いてもよい。また、実現可能性については評価の対象としない。

表1 △△県下における3手口の窃盗犯(自転車盗・置引き・万引き)の発生に関するデータ

年	自転車盗			置引き			万引き		
	発生件数	発生指数	検挙率(%)	発生件数	発生指数	検挙率(%)	発生件数	発生指数	検挙率(%)
A	25,395	67	7.1	1,625	25	15.5	7,561	90	53.5
B	25,195	67	7.2	1,264	19	16.6	7,476	89	53.4
C	10,715	28	13.3	784	12	19.0	6,498	77	54.1
D	17,078	45	8.9	870	13	27.4	6,351	75	55.3
E	18,667	50	7.3	1,966	30	24.8	6,232	74	55.6
F	24,907	66	7.7	3,829	58	16.3	6,995	83	50.6
G	26,990	72	6.1	4,457	68	14.9	7,062	84	51.5
H	29,098	77	5.9	5,424	82	12.9	7,569	90	51.9
I	33,987	90	5.1	6,030	92	10.3	8,262	98	50.1
J	37,666	100	5.1	6,589	100	9.2	8,415	100	50.4

表2 ○○さんが「△△県下の3手口の発生に関連していそうだ」と考えた事象に関するデータ

年	人口	年代別割合(%)			外国人 旅行者数	鉄道旅客 輸送人数 (万人)	ガソリン 販売量(kL)	外食産業 売上高前年 比(%)	キャッシュ レス決済 比率(%)	自転車 出荷台数
		0～14歳	15～64歳	65歳～						
A	8,770,315	11.2	61.7	27.1	12,167,067	649	158,667	108.4	42.3	1,318,495
B	8,774,574	11.7	61.1	27.7	8,271,813	620	165,451	114.1	39.3	1,328,471
C	8,787,414	11.4	60.9	27.7	1,264,596	580	172,524	113.3	36.0	1,492,140
D	8,807,279	11.6	60.7	27.7	81,134	519	168,680	98.6	32.5	1,629,357
E	8,837,685	11.7	60.7	27.6	1,358,223	493	159,351	84.9	29.7	1,626,347
F	8,823,453	11.8	60.5	27.6	12,306,471	699	168,401	101.9	26.8	1,627,322
G	8,824,566	12.0	60.6	27.5	11,416,219	703	175,627	102.2	24.1	1,544,624
H	8,832,642	12.1	60.7	27.2	11,103,445	698	183,140	103.1	21.3	1,619,326
I	8,837,812	12.3	60.9	26.8	9,399,523	691	189,350	102.8	20.0	1,619,165
J	8,839,469	12.4	61.4	26.2	7,164,679	684	197,963	100.1	18.2	1,581,409
年	警察予算 (億円)	警察職員数	遺失届 受理件数	高齢者の 刑法犯検挙 率(%)	刑法犯少年 の検挙・ 補導人員	刑法犯の 再犯者率 (%)	携帯電話累 計契約台数 (万台)	防犯カメラ 累計設置 台数	経済成長率 (%)	企業倒産 件数
A	2,899	24,732	551,795	22.4	18,923	49.1	1,636	32,797	0.4	1348
B	2,750	24,692	543,086	22.4	16,465	49.6	1,632	30,180	2.1	1080
C	2,728	24,688	455,988	23.1	14,380	50.1	1,549	27,940	3.2	845
D	2,558	24,684	386,747	23.6	14,006	50.1	1,493	24,900	2.5	847
E	2,747	24,701	392,625	22.0	15,356	51.4	1,429	22,330	-4.1	1132
F	2,759	24,685	523,508	22.0	16,028	51.2	1,360	20,720	-1.7	1177
G	2,736	24,725	523,767	21.7	16,486	51.0	1,307	18,540	0.2	1118
H	2,701	24,722	509,978	21.5	17,708	51.0	1,251	17,000	3.0	1229
I	2,703	24,639	500,064	20.8	18,406	49.6	1,202	14,010	0.0	1146
J	2,721	24,557	485,437	19.9	19,785	49.0	1,151	12,250	2.5	1205

※表に関する注意事項

- ・ 年…AはBの翌年、BはCの翌年・・・という順に並べてある。
- ・ 発生件数…警察で認知した事件の数をいう。
- ・ 発生指数…警察で認知した事件について、J 年を基準（100）とし、そこからの変化を相対的に表した値を表す。
- ・ 自転車盗…自転車を窃取するもの。
- ・ 置引き…待合室、電車等の中ですきをみて乗客等の携行品を窃取するもの。
- ・ 万引き…買い物客として商品の物色を装い、店員等のすきをみて商品を窃取するもの。
- ・ 刑法犯少年…刑法に規定する罪を犯した 14 歳以上 20 歳未満の少年をさす。
- ・ 単位…表中の数値で注意が必要なものについては、例えば「（億円）」のように表示している。